

1981 年京大理 [3]

$x=1$ のとき $x^m - 1 \leq k(x^{m+1} - 1)$ は成立。

$0 < x < 1$ のとき $k \leq \frac{x^m - 1}{x^{m+1} - 1}$ $1 < x$ のとき $k \geq \frac{x^m - 1}{x^{m+1} - 1}$

$f(x) = \frac{x^m - 1}{x^{m+1} - 1}$ ($x \neq 1$) とすると

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{mx^{m-1}(x^{m+1} - 1) - (m+1)(x^m - 1)x^m}{(x^{m+1} - 1)^2} = \frac{x^{m-1} \{ mx^{m+1} - m - (m+1)(x^{m+1} - x) \}}{(x^{m+1} - 1)^2} \\ &= \frac{x^{m-1}(mx^{m+1} - m - mx^{m+1} + mx - x^{m+1} + x)}{(x^{m+1} - 1)^2} = \frac{x^{m-1} \{-x^{m+1} + (m+1)x - m\}}{(x^{m+1} - 1)^2} \end{aligned}$$

さらに、 $g(x) = -x^{m+1} + (m+1)x - m$ とすると $g'(x) = -(m+1)x^m + (m+1) = (m+1)(1 - x^m)$

$0 < x < 1$ のとき $g'(x) > 0$ であるから、 $g(x)$ は単調増加。

$g(1) = 0$ より $g(x) < 0$ であるから、 $f'(x) < 0$ であり、 $f(x)$ は単調減少。

$1 < x$ のとき $g'(x) < 0$ であるから、 $g(x)$ は単調減少。

$g(1) = 0$ より $g(x) < 0$ であるから、 $f'(x) < 0$ であり、 $f(x)$ は単調減少。

結局、 $f(x)$ は、 $0 < x < 1, 1 < x$ において単調減少である。

$0 < x < 1$ のとき、 $k \leq \frac{x^m - 1}{x^{m+1} - 1}$ となる条件は $k \leq \lim_{x \rightarrow 1-0} f(x)$

$1 < x$ のとき、 $k \geq \frac{x^m - 1}{x^{m+1} - 1}$ となる条件は $k \geq \lim_{x \rightarrow 1+0} f(x)$

ここで $\lim_{x \rightarrow 1-0} f(x) = \lim_{x \rightarrow 1+0} f(x) = \lim_{x \rightarrow 1} \frac{x^m - 1}{x^{m+1} - 1} = \lim_{x \rightarrow 1} \frac{x^{m-1} + \dots + x + 1}{x^m + \dots + x + 1} = \frac{m}{m+1}$

以上により、題意を満たす k は $\therefore k = \lim_{x \rightarrow 1} \frac{x^m - 1}{x^{m+1} - 1} = \frac{m}{m+1}$ (証明終)